

今月のことば

はつきりしないのが
原因です
本当の願いが
苦悩とは

京都東本願寺のお堀沿いに立っている法語行灯より。
悩みや苦しみに右往左往するのは、本当の願いがはつきりしないことが根元にあるのではないか。願いに立った時、苦悩は無くならないかもしれないけれど、私たちの碍(さわり)、邪魔をするものにならないものになる道があるといえます。

月に一度の命の洗濯

持ち物 念珠・勤行本
どなたでも参加できます。

内容 勤行 住職法話・前住職法話
茶話会(500円)

十二時から十五時三十分

六月十三日

六月同朋会(第二十曜日)

ぼうもりのひとりごと

今まで、境内墓地の清掃にはシルバーセンターからの派遣をいただいていた。それに加えて4月から障がい者就労継続支援A型事業所の『パレスト』の方々にもお手伝いいただいています。これからの季節は日差しが強く作業も大変です。お墓参りの際にはぜひ応援のお声掛けをよろしくお願いします。

INFORMATION

女性二人のリーディングユニット

劇団ふたり

朗読 IN 徳泉寺

6月3日(水)& 6月7日(日)

13:30~15:15(13:00開場)

プログラム

- 1 『宮城の民話』より 劇団ふたり
- 2 絵本『爆弾に傘をさしたおばあちゃん』
かとうあい(作・画) 坊守
- 3 和讃『無明長夜の燈炬なり』
親鸞『正像末和讃』 住職
- 4 『みちのくの民話』より 劇団ふたり

入場無料

お久しぶりの劇団ふたりさん。今回は昔話。どちらも同じプログラムでの2回公演です。

前住職法話「歎異抄第五章」

親鸞 は父母の孝養(きょうよう)のためとて、一遍にても念仏申したること、いまだそうらわす」

この言葉によって「親鸞聖人とはなんと親不孝なんだ。」と問題になったりします。それは「供養」とはどういうことかというところが古来より伝わる祖霊信仰と真宗では違うところから起こる誤解です。亡くなられた方を「霊」ととらえる祖霊信仰では「供養」とは亡き人の冥福を祈る追善供養です。が、真宗のように亡き人を「仏」ととらえる仏教では「供養」とは仏意に仕える、仏意にかなうという意味で「諸仏供養」のことを意味します。亡き人はみな諸仏となつて、私たちを教え導く仏様である。その仏様の心に仕える、あるいはその御心になつた生き方をたずねていくことなのです。ですから、亡き人を偲び、亡き人に自分の生き方をたずね、仏の御心になう生き方をすることが、「供養」であつて、父母の冥福を祈る追善供養ではない、ということなのです。

五月同朋会より